

# 【ディンプルf 施工品質記録チェックリスト】

## 作業工程①

- 1 アゴの清掃・補修・高さ調整
- 2 付属パッキンを側溝アゴに設置
- 3 専用吊り金具にてディンプルf 布設

※製品本体をまたがせないよう布設する



①-1 付属パッキン設置

## 作業工程②

- 1 モルタル充填前に注入口に水を注入
- 2 無収縮モルタルかくはん   
※ハンドミキサーを使用
- 3 充填モルタルを注入口片側より注入   
※Dimple f 1 枚当りの参考モルタル量 1.0ℓ
- 4 モルタル未注入口より、  
モルタルが溢れたら注入完了
- 5 注入口仕上げ



②-1 注入口より水注入



②-2 モルタルかくはん



②-5 充填モルタル注入



②-4 注入完了

## 作業工程③

- 1 養生を充分にとる
- 2 最終確認を行い、施工完了

施工業者：

工事名：

Dimple f

重要

# ディンプルf 施工要領

必ず本施工要領手順にもとづいて、施工をお願い致します。

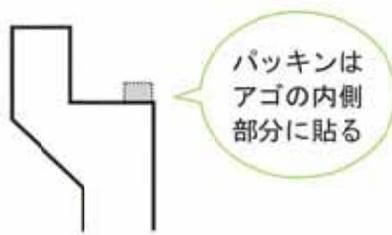
作業工程①-①から順に一つの作業工程ごとに  
チェックをお願いします。

## 作業工程①

- ①アゴの補修が必要な場合はディンプルf 布設前にアゴの補修を行う。  
高さ調整が必要な場合はモルタルで布設前にアゴの高さを合わせる。  
※ 側溝が新設の際には必要ありません。



- ②アゴの凹凸によるモルタルの流出を防ぎ、充填不足を無くす為、  
アゴの内側部分にDimple(f) 付属のバックインを張る。  
※ バックインは1枚当り1m2本使用



- ③専用吊り金具にて布設を行う。  
側溝本体に目地がある場合は目地をまたがないよう布設を行う。  
※ 目地をまたぐとガタツク要因になります。



## 作業工程②

- ①~③  
無収縮モルタルが行き渡りやすいよう注入口より水を流し込み、  
ハンドミキサーで練った無収縮モルタルをジョウゴなど用いて注入する。  
側溝のアゴとのクリアランスをとっている場合はクリアランス部分にも充填させる。  
※ 無収縮モルタルの注入量目安 1枚当り 約 1.0ℓ



- ④無収縮モルタルを注入していない注入口から、充填モルタルが溢れてきたら  
充填完了。  
両側からは注入せず片側より溝内部をのぞいて充填確認を行う。  
※ モルタル充填が不十分だとフタがガタツク原因になります。



## 作業工程③

- ①無収縮モルタルの養生を充分にとる。  
養生は無収縮モルタルで約24時間・超速硬モルタルで約3時間程度。  
※ 温度や湿度によって異なる。  
※ 養生時に車両などが乗るとガタツク原因になります。

